

# 積算資料 建設資材価格指数

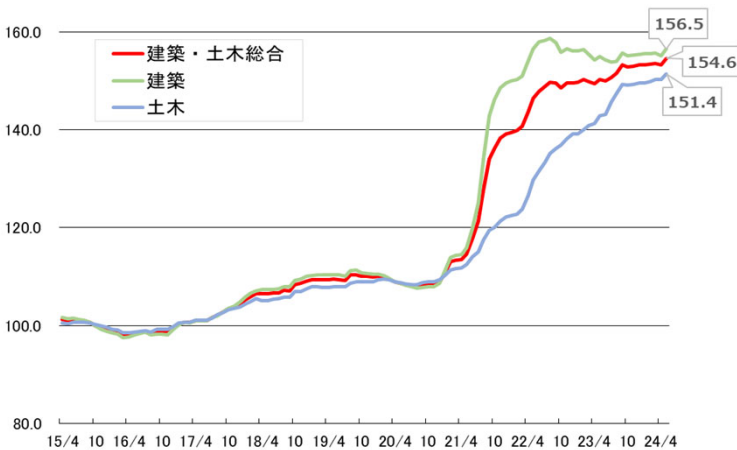


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

## 指数の推移 (2024年5月調査)

全国・2015年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同期比
建築・土木総合	154.6	+1.4	+4.3
建築	156.5	+1.4	+1.6
土木	151.4	+1.2	+8.5

指数の詳細な計算結果はこちら  
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



## 部門別 主な指数の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+18.0名古屋、+7.6東京</li><li>●コンクリート二次製品：+1.3高松、+0.7那覇</li><li>●瀝青材：+5.1仙台、+4.8札幌、+4.2新潟、+4.1高松、+3.8広島、+3.6名古屋、+3.5福岡、+3.0大阪、+2.9東京、+0.6那覇</li><li>●普通鋼鋼材：+1.0新潟、+0.6仙台、+0.5高松、+0.4名古屋、+0.3東京、+0.2広島・福岡、+0.1札幌・大阪</li></ul>	
建築	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+17.8名古屋、+7.5東京</li><li>●コンクリート二次製品：+0.4那覇</li><li>●普通鋼鋼材：+0.1札幌</li></ul>	
土木	<ul style="list-style-type: none"><li>●生コンクリート：+18.3名古屋、+8.0東京</li><li>●コンクリート二次製品：+2.9高松、+1.7那覇</li><li>●瀝青材：+9.5東京・名古屋・大阪・広島、+9.1仙台・福岡、+8.9新潟・高松、+8.6札幌、+2.1那覇</li><li>●普通鋼鋼材：+2.1新潟、+1.1仙台・名古屋・高松、+0.8東京、+0.4広島・福岡、+0.3大阪、+0.2札幌</li></ul>	

### 指数集計対象資材の市況

5月調査に基づく建設資材価格指数は、3指数全てで前月から1ポイント以上プラスとなる大幅上昇となった。建築・土木総合は154.6と2カ月振りに過去最高を更新。全国的に普通鋼鋼材や瀝青材価格が上伸する一方、市況が下落した資材が無かったことが指数の上昇要因となった。また、東京と名古屋では生コンクリートが上伸。いずれも生コン協組の値上げが市場に浸透したものの、値上げ理由のひとつに骨材価格の上昇が挙げられており、原材料コストの価格転嫁が依然として続いている状況がうかがえる。生コンやコンクリート二次製品については、セメントも次年度に向けて値上げが打ち出されるなど、原材料の先高観は強い。そのため、今後も販売側のコスト転嫁は続くと思われる。指数も引き続き高推移の公算が大きい。

### 指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212